

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより かつうら

No.28

2004. 7. 30発行

発行 徳島県勝浦町議会
編集 議会広報調査特別委員会

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国
TEL (08854) 2 - 2511

県下に先がけ意見書を提出 — 2

小松島市議と任意の勉強会 — 3

収入役廃止の問題点は — 4

一つの町が二つの合併協議会 — 5

常任委員会も二つに — 6

町の考えをただす — 7

合併は急がなくても (声のひろば) — 16



めざせ!! 未来の金メダル

支払制度

を求める意見書



中山間の大谷代表から陳情書

一般会計
補正予算

746万1千円

(地域新エネルギービジョン策定費)

総額 32億3,046万1千円

議案に対する質疑

問

住民参画により地域新エネルギービジョン策定すると説明されたが、どのような人選になるのか。

答

全額補助の事業であり、JAや森林組合、商工会、観光協会、住民代表として婦人会や青年会、NPO法人の関係者などを考えている。

6月定例会

六月定例会は、六月八日から十六日までの十一日間開かれ、十六年度補正予算、条例の一部改正、議員提出議案などを審議し、全員一致で可決しました。

一般質問は、九人の議員が登壇し、救急患者輸送車や地籍調査、合併問題を中心に活発な論議が展開されました。

中山間地域等直接

存続

県下に先がけ提出

議員提出議案（意見書）

財務省において、中山間地域等直接支払制度の廃止や大幅縮小が検討されているとの報道があり、制度の存続を要請する陳情書が、町民千八百七十七人の署名を添え議長に提出されました。

この陳情を受け議会として審議の結果、本町ではなくてはならない制度として定着しており、廃止等による影響を考慮しこの意見書を全会一致で可決しました。

◆提出先◆

内閣総理大臣・財務大臣
総務大臣・農林水産大臣
県選出国會議員・徳島県知事

収入役を廃止（助役が兼務）

五月二十一日に開かれ、国民健康保険などの専決処分の承認と、勝浦町に収入役を置かない条例を審議し全会一致で承認、可決しました。

第1回臨時会

小松島・勝浦合併推進 議員協議会を立ち上げ



昨年三月、一市四町の合併協議会が解散し、その後行われた上勝町との理事者間協議も不調に終わりました。

特例法期限内の合併を目指すとなれば小松島市以外に道はない中で、議会の対応として合併に前向きな十人と、小松島市議会の中で、勝浦町との合併を積極的に進めようとする十五議員による協議会を立ち上げました。

第一回の会議は七月八日、町役場に小松島市十一人、本町から十人が出席し、自己紹介と今後の取り組み方法等について協議しました。次回は七月二十八日に小松島市で行うことになりました。

総務

収入役廃止問題

審議前の

新聞報道はなぜ

五月十八日、六月一日に委員会を開き、十五年度補正予算、収入役を置かない条例、救急患者輸送車問題と、十六年度補正予算、一般会計繰越明許費、および、県町村議会事務組合の規約改正等について説明があり審議しました。

問 収入役廃止は財政状況からやむを得ないと思うが、審議前の新聞報道は議会軽視ではないか。

答 助役 行革について資料を求められた。議会提案前に報道されたことは遺憾に思っている。

問 助役が兼務すると言うが問題はないのか。

答 総務課長 総務課、税務課で応援体制を組み、支障が出ないようやっていく。

総務課長から 地域新エネルギービジョン策定調査や開発公社の説明がありました。



町内にも普及する新エネルギー

問 新エネルギービジョンの具体的な取り組みは。

答 総務課長 町民参画による環境保全活動で、地球にやさしいまちづくりを基本に庁内委員会と策定委員会を設置する。構成は学識経験者や住民代表、学校教

育関係者で組織し委託、調査はコンサルにお願いする。

問 委員会として 臨時

会および定例会に提案することを了承しました。

委員会として 臨時

活動報告

外来患者数 日によって差が

厚生

六月三日に委員会を開き、町の施設を民間に委託することができるとの条例の改正と、平成十五年度勝浦町病院事業特別会計決算状況についての説明があり審議しました。

問 福祉課長から 勝浦町子育て

交流支援センター等、公の施設を行財政改革の一環として外部委託できるようにする条例改正の説明がありました。

問 子育て支援センターの利用状況は。

答 福祉課長 十五年度は、毎月第二、第四火曜日にサークル活動として、十五組、それ以外は、一日五組程度の利用があった。

病院事務局長から 平成十五年度勝浦町病院事業特別会計決算状況についての説明がありました。

問 医師により、日々の患者数が異なるのを解消できないか。

答 病院事務局長 経費を抑えるため、どうしても若い医師になるので難しい。

問 新しい看護師長の評価は。

答 病院事務局長 看護師との関係もよく、患者からの評判もいい。病棟の雰囲気も変わってきている。

委員会として 了承しました。



沼江保育所跡の子育て支援センターで

産業建設

地籍調査 7月中に棚野で説明会

六月三日に委員会を開き、公共施設の設置及び管理に関する条例の一部改正と、地籍調査の取り組み等について理事者側から説明があり審議しました。

建設課長から 今後、委託業者を選定し、一筆調査を実施、境界確定、杭打ちの順で行うとの説明がありました。

問 測量業者の選定基準は、

答 建設課長 指名は過去に実績のある業者とし、最終は指名審査委員会に判断をゆだねる。

問 測量が実施された場合、固定資産税はどうなるのか。

答 建設課長 特例があり、測量が全て終了してから見直しになる。

公共施設を 民間に委託

問 委託された団体が営利を目的に優先使用するのは困る。

答 産業振興課長 住民サービスの下下にならないようにしたい。

委員会として 六月定例会に提案することを了承しました。



住民サービスの低下にならないように

委員会の

合併調査特別委員会 視察報告



中土佐町は土佐湾に面し、高知県のほぼ中央部に位置した七千人余りの町である。

町内に三つの漁港があり、「カツオの一本釣り」の町として全国に知られている。

平成十五年三月に須崎市と法定協議会を設置、八月に協議を終了、新市名は「黒潮市」と決定している。

しかし、その協議の最中に大野見村との合併協議会設置を求める住民発議があり、十六年二月に住民投票を実施した。その結果賛成が反対を大きく上回り、四月に大野見村と協議会を設置、現在協議が行われている。

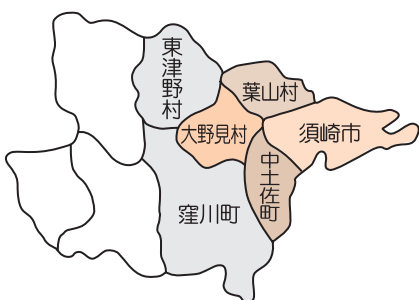
一つの町が二つの合併協議会

高知県中土佐町

九月には協議を終了、十一月に住民投票を実施するための条例案を議会に提案、可決すれば、「須崎市」「大野見村」「自立」の三つの中からの道を選択するか住民投票を実施することである。

勝浦町では七月末から九月初旬までの間に、各地区別に合併と行財政改革の説明会を開く計画なので、その場に議員も出席し住民の意見も十分お聞きしたいと思っている。

また、特例法期限内合併を目指す上で唯一の相手である小松島市は編入合併を前提としているが、重要課題については対等な立場で話し合い、住民が納得できるように合併にしくはならない。



議員定数の減で

二常任委員会に

六月定例会において委員会の構成を行い、議員の定数減にともない常任委員会の運営に支障をきたすため今までの総務、産業建設、厚生、三常任委員会を一つ減らし、総務産建、文教厚生、の二つに編成替えを行いました。今後は、効率的でより充実した常任委員会活動が行われることとなります。

総務産建常任委員会

総務、財務、産業経済及び建設に関する事項並びに他の委員会に属しない事項

- | | | | |
|------|------|----|------|
| 委員長 | 福德重二 | 委員 | 国清 栄 |
| 副委員長 | 大西一司 | 委員 | 森 健 |
| 委員 | 川端雅夫 | 委員 | 原田昭三 |

文教厚生常任委員会

文教、厚生、国民健康保険及び病院事業に関する事項

- | | | | |
|------|-------|----|------|
| 委員長 | 森 敏治 | 委員 | 溝田義昭 |
| 副委員長 | 井出美智子 | 委員 | 西浜勝己 |
| 委員 | 松田貴志 | 委員 | 中西晴美 |

議会運営委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 西浜勝己 |
| 副委員長 | 森 敏治 |
| 委員 | 井出美智子 |
| 委員 | 大西一司 |
| 委員 | 川端雅夫 |



旧坂本トンネル 補修工事はいつ終わるのか

八月中旬に完了予定（建設課長）

森 敏治 議員



問 旧坂本トンネルは老朽化が進み、落盤の危険性があるので、全面通行止めとなっている。いつ補修が終わり、通行可能になるのか。

また、耐震工法となっているか。

答 坂井建設課長 補修工事は六月十五日に入札が行われ、八月の中旬には完成させたいとのことである。

今回の工法は、落石防止が目的で耐震性は加味されていない。



8月中旬に完了

町税の 未納対策は

問 住民税や保険税にかなりの滞納繰越額もあり、毎年欠損処分されているが今後の対応は。

町営住宅 払い下げの 検討を

問 町営住宅は老朽化が進み、維持費もかさんでいる。今後、払い下げを検討すべきでないか。

答 今川税務課長 住民福祉向上のためには、公平な課税が一番と考えている。今後、法令を適格に適用しながら、徴収率の向上等にも努力したい。



払い下げの検討を

行財政改革 何がポイントか

合併が最重要課題
(総務課長)

答 山平住民課長 現在、十二団地、八十一戸の町営住宅を管理しているが、財政的にも大きな負担となっている。公営住宅の譲渡処分について、国の条件が緩和されつつある。今後、地域の実情、住宅需要の動向等を踏まえ、調査研究したい。

問 「行財政改革推進プラン」が策定され、平成十六年、十七年度を第一次緊急行動期間としているが、何が重要課題か。

答 戸川総務課長 行財政基盤を強化していくことが重要である。有効な手段として、合併の推進が最重要項目である。行財政改革により、財政の健全化への道筋は期待できるのか。

答 戸川総務課長 町単独では現在のサービスを維持することは困難である。また、交付税、補助金が削減され、税源移譲も遅れている。今後、厳しい財政難が予測されるため、絶えず見直しをしながら推進したい。

**合併問題
時間が足りない
のでは**

問 町長は「法期限内に合意形成可能な自治体との合併を目指す」と表明しているが、住民に対しての説明会、合併協議会等の課題もあり、時間が足りないのではないか。

答 町長 議会や町民の意見を聞きながら、九月議会には合併協議会の設置が必要であると考えている。今日まで合併できなかったことは、不徳のいたすところであり、法期限内合併に全力を尽くしたい。

合併問題

上勝町に再度働きかけを

現時点でコメントできない(町長)

中西晴美議員



との合併について努力している最中なのでコメントは差し控えたい。

問 上勝町に情勢の変化があったのだから、改めて積極的に動くべきだ。

答 町長 アンケートの結果を見ると勝浦との合併希望は多いが、法期限内を望む声は十五%しかない。

上勝町長も住民の意見を尊重し、法期限内合併は難しいとの考えなので慎重に状況を見守りたい。

十六年度の 財政見通しは

問 十五年度決算の状況と、十六年度の財政見通しは。

答 戸川総務課長 十五年年度の決算予測では、公債費比率二十

一%、起債制限比率十五%、経常収支比率九十四%、財政力指数は〇・二二の見通しである。

十六年度は、公債費比率がピークの二十七・三%となり、基金を取り崩しての決算になると思われる。

問 十六年度末の財調基金の残高はどの位になる見通しか。

答 戸川総務課長 財調基金は二億五千万円程度、全体的な基金は九億六千万円前後になると予測される。

農産物の動向は

問 町内農畜産物の昨年の売上げと、今年のみかんの見通しは。

答 国清産業振興課長 みかん十三億円、畜産三億五千万円、スタチ一億八千万円、イチゴ一億六千万円、米一億一千万円である。

みかんの作柄は、早生で前年並み、晩生は七十%から九十%の見込みで、価格の見通しは十四年程度と思われる。

少子、高齢化の 現状と対策は

問 勝浦町の現状は出生者が約四十人、死亡者が約八十五人である。

沼江保育所跡利用による少子化対策の活動状況は。

答 光井福祉課長 異年齢の交流スペース、子育てサークル活動スペース、国際交流異文化体験スペースを設けて活動している。

問 六十五歳以上の高齢者数とそれに関する経費、また、今後の見通しは。

答 光井福祉課長 五月末現在で二千三十七人、人口に対する割合は三十・四%である。また、老人福祉費の予算は、一億三千三十五万円余りで来年度も大きく増えることはないと考えている。

地籍調査の 取り組みは

問 私が二十数年前から提唱してきた地籍調査にやっと取り組むことになったが、人員が少なすぎる。また、境界が分からなくなっている山林から始めるべきでないか。

答 坂井建設課長 四地区から申請があり、三百六十万円の予算で棚野地区から取り組む人員は二人体制であるが、軌道に乗れば増員したい。地区の要望にもよるが、公共性の高い所から取り組んでいきたい。



にぎやかに子育てサークル活動

合併問題 もつとスピードアップを

協議会九月設置を目指す（町長）

大西 一司 議員



置を目指したい。法期限内に合併ができるよう努力したい。

戸籍事務電算化の目的は

行政サービスの向上を計る
（山平住民課長）

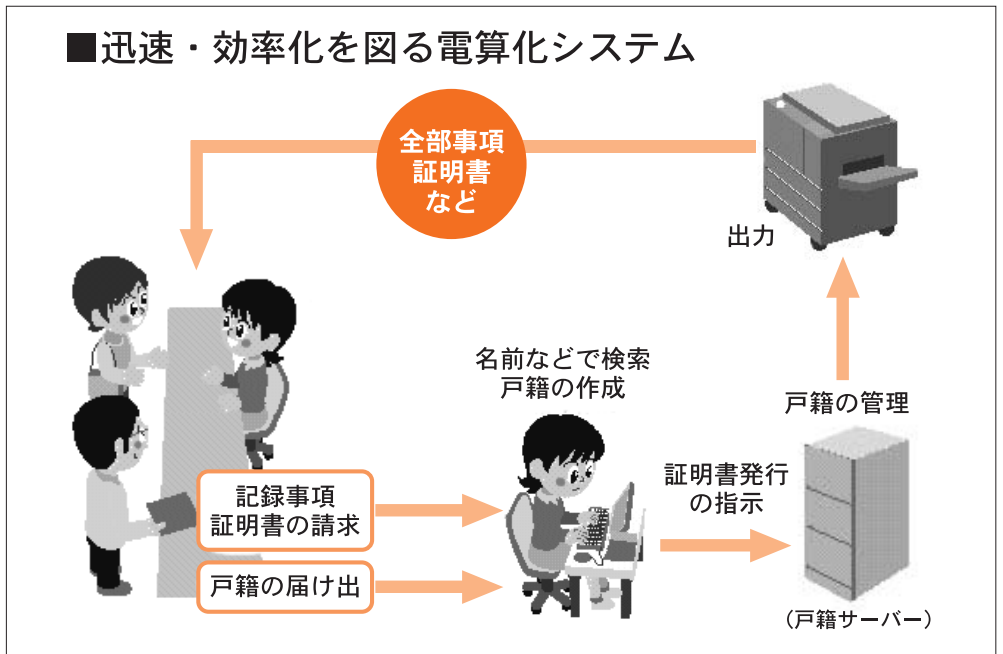
問 町長は三月議会で「法期限内に合意形成可能な自治体との合併に全力を尽くす」と答弁した。また、合併特別委員会の中で、小松島市との合併に向け勉強会を進めて行くとのことであるが、残された時間は少ない、もつとスピードアップを図り、協議の回数を多く開く必要があるのでは。

答 町長 九月に小松島市との協議会設

問 約四千万円程度の予算を計上して戸籍事務の電算化を進めているが、導入の目的と効果は。

答 山平住民課長 戸籍法と住民基本台帳法の一部を改正する法律の制定により、国の指導を受けながら進めている。システムを導入することにより、事務処理の迅速化、正確性の向上、プライバシー保護等行政サービスが大きく向上される。

迅速・効率化を図る電算化システム



また、戸籍事務の専門的知識、経験がなくても対応できる利点がある。

中山間直接支払制度 廃止反対運動を

継続に向けて
運動する（町長）

問 財務省が来年度予算で中山間直接支

払を廃止または大幅な削減を検討しているが、本町農家になくしてはならない制度として定着している。議会も存続を求めている。意見書を出しているが、他町村とも連携して大きな反対運動を展開すべきだ。

答 町長 他町村とも連携を取り前向きに進めて行きたい。

問 政府の農村政策推進本部は、農家の担い手に助成する第二の直接支払制度の導入を打ち出しているが、本町への影響は。

答 国清産業振興課長 この制度は従来の農家へのばらまき型助成を見直し、経営規模の拡大と、農家の担い手を支援する品目横断的な政策で、対象は認定農業者であり本町では三十人に満たない。

問 全国で多くの自治体が取り組んでいる環境管理企画「ISO14001」の認証取得を目指しては。

作業を進めることにより職員の意識も高まり電力や、公用車の燃料、コピー、印刷用紙の使用量の削減等の利点が多くある。取り組んでみては。

答 町長 住民、職員意識改革が高まり、プラス面が多くある。今後に向けてみんなで勉強してみたい。

三位一体改革の影響は

問 今年の本町財政運営にどのような影響が出ているのか。

答 町長 交付税、補助金の削減と税源移譲を差し引きすると一億八千万円くらいのマイナスとなる。いくら改革しても追いつかない現状だ。

ISO14001 認証取得に 取り組んで

勉強して行きたい。
（町長）

中山間地域等

直接支払制度継続を

国に強く要望していく(産業振興課長)

森 健 議員



性化している現状から、継続に向けて国に強く要望していく。

問 中山間地域を元気にして集落を維持していくことは、都市部にとっても必要なことであり「地域の過疎化は他人事ではない」と説く識者もいる。集落協定による取り組みや、耕作放棄地の解消等本来のねらいは、どのように生かされているか。

問 財政制度等審議会が制度の廃止を含めた見直しを建議した。内容の充実を含めた制度の継続が必要と思うが。

答 町長 町村会等の中でも先頭に立って意見を言っている。県選出国会議員や国に対しても、町の実情を踏まえて他の町村と連携をとりながら訴えていく。

答 国清産業振興課長 本町としては、この制度によって集落が活

金ともトップの実績をあげている。

今後、この制度が継続されるとした場合、運営にどのような問題点があるのか。

問 国清産業振興課長 集落協定にもとづく事業計画書や成果報告書、会計報告書等の作成や税務対策等の煩雑な事務が多くなっている。現在の協定者は、高齢者が多く事務負担と担い手不足など、参加意欲が減退

答 勝浦町では、初年度から最終年度までにどれくらいの金額が直接支払いされる予定か。

問 国清産業振興課長 最終年度までに二億七千二百八十万円程度が支払われる見込みである。

することが予想される。今後は、それぞれの地域の実情に応じたプランの作成等により、協定参加者の若返りが必要になってくる。

勝浦町では、初年度から最終年度までにどれくらいの金額が直接支払いされる予定か。

答 国清産業振興課長 最終年度までに二億七千二百八十万円程度が支払われる見込みである。

することが予想される。今後は、それぞれの地域の実情に応じたプランの作成等により、協定参加者の若返りが必要になってくる。



直接支払制度の継続を



大きく取り上げられた合併問題

合併問題 もっと積極的に取り組み

問 法期限内合併を目指すと言ってきたが、近隣市町村との話はどうなっているか。

答 町長 徳島、小松島市長とはそれぞれ二回ずつ合っているが、いずれも具体化した話にはなっていない。

問 小松島市の議員との合併勉強会のことが新聞に報道された。町民の間では「いよいよ合併ですな」という声が多いにもかかわらず町長の積極さが感じられない。一歩踏み込んだ考えを聞きたい。

答 町長 町民の意見はいろいろある。積極性を持ちながら慎重かつ大胆に取り組みたいと思っている。

救急患者輸送車 早く解決を

懸命に努力中である（町長）

西浜勝己議員



地籍調査 作業はいつ

七月説明
九月作業実施
（建設課長）

問 いかなる場合でも町内業者に委託することに変わりはないか。

答 また、万が一の事態等が発生すると行政責任を問われる場合もあり、全力で取り組む必要があるのでは。

問 町長 どのような場合でも町内へ委託することに変わりはないか。

答 また、違った方向での協議が進みつつある。その場合、全員協議会で報告し、了解を得たい。

問 今年から始まる地籍調査の具体的な取り組みや作業等の内容は。

答 坂井建設課長 柵野地区から始まるが、一筆調査が主な作業で登記簿、図面を基に土地所有者立ち会いによる地番確認等、境界設定作業となる。七月頃に地元説明会を行い、九月頃より所有者立ち会いの作業を行う。

七月説明 九月作業実施 （建設課長）

問 最近、複数地区から申請の動きがあるが、町の考え方は。

答 また、測量、調査等の業者選定はどのような方針で望むのか。

問 坂井建設課長 地元体制が整った所からなるが、国の予算から見ると三、四年先でなければ軌道に乗らないと思われる。

答 また、業者選定については一筆調査業務、測量調査業務等の作業が適正に実施できる能力があるかどうか、今後、指名審査委員会等で十分協議する。



9月から地籍調査が始まる柵野地区

問 三月議会で「救急車の町外業者委託は暫定措置」との答弁だったが、いまだに解決していない。住民からは日毎に苦情が増大している。原因は何なのか。

答 町長 住民に心配をかけ申し訳ない。町内業者と再三にわたり交渉を重ねてきたが合意に至っていない。一日も早く解決すべく努力中である。



7月26日から業務を再開

合併問題 住民説明会はいつ開くのか

七月中旬以後になる（助役）

問 毎議会ごとに合併問題を議論してきたが、町長は「あらゆる可能性を求めて対応したい」とか「法期限内合併を目指したい」との答弁に終始している。町単独

か一市一町か選択肢は限られている。いつ方向を示すのか、

答 また、住民説明会をすると言いつつ続けたがその日程は。

問 町長 法期限内合併を目指したい。

答 その場合、九月議会までには「協議会」設置をしなければ間に合わないと思う。

問 住民説明会には町の基本方針を決めたい。

答 また、住民に分かりやすい資料を示すべきと思うが。

問 町長 合併の基本を示す必要がある、早く方向性を見出した

答 戸川総務課長 住民に分かりやすい資料で説明に回りたい。

どうなった市民農園構想

地元の理解が得られない

(産業振興課長)

原田昭三議員



理解が得られなかった。
現在は、沼江、石原地区にこの跡地を含めた地域活性化策を協議してもらっている。

東部広域農道
工法の見直しは
行われて
いるのか

いるのか

問

最少の経費で効果を発揮させるため、工法の見直しを行うとのことであったが、現地を見ると立派な橋がかかっているなど、見直しされているとは思えない。どうなっているのか。



工法見直しでコストの削減を

合併説明会
いつまでに
終わらせるのか

八月中には終わらせたいが(助役)

問

七月中旬以降に各地区での説明会を開くとのことだが、いつまでに終了させる予定か。

答

助役 町内十六カ所で開くことになると思われるので、各地区の事情も考慮しなくてはならない。今、はっきりとは言えないが、できれば八月中には終了させたいと思っている。

問

沼江の勝浦高校実習園跡地を有効活用するため、市民農園を計画していたが難航していると聞く。その後どうなっているのか。

答

国清産業振興課長 昨年九月に市民農園の活用構想を策定して、国の補助を受けるため経済産業局に提出、ビジョン作成は完了した。

その後、地元説明会を二回開催したが、今までのいろいろないきさつがあり、市民農園としての



羽ノ浦町の市民農園

答

坂井建設課長 十六年度から、整備水準の見直しを行い、事業費コストの削減を図ることである。トンネル、橋梁、道路幅などを見直して必要最小限の経費で、平成二十五年までにすべてを完了させる計画である。



乳幼児医療費 就学前まで無料にしては

検討はしてみたい（町長）

福德重二 議員



問 女性が一生に産む子供の数が一・三人である。子育て支援事業の一つとして乳幼児医療費を就学前まで無料にしてはどうか。

また、無料にした場合の経費は、年間四百五十万円位と聞いているが、予算配分を見直せばその位はねん出できると思うが。

答 町長 知恵を出して、どのような方向がよいか検討はしてみたい。

地籍調査 複数地区での 実施は

問 調査終了までに三十五年かかると言う

気の遠くなるような事業であり、合併などで行政区域も変わってくる。少しでも早く進めるため複数地区を対象に取り組んでは。

答 坂井建設課長 地元の予算が付けば、事業が軌道に乗る三年か四年先には対象地域を複数にしたい。

救急患者 輸送車委託

問 四月から輸送業務を小松島の「日の峰タクシー」に委託を

している。町内の二業者から希望価格を提示してもらい契約交渉をしたが、成立しなかったと聞く。どういうことか。

答 戸川総務課長 基本的に信義に反することであり、非常に残念である。

合併、 今後の方策は

問 町長は、十七年三月三十一日の法期限内に合併できるよう努力すると言ってきたが、

残る日数は九カ月であり、



お世話になった日の峰タクシー



答 町長 方向性が見えても見えなくても、説明会は開く。今後、法期限内での合併に向け、最大限努力する。

法期限内の合併は無理と思う。また、いまだに方向が定まっていないのに、住民説明会を七月から八月に実施すると言うのが、本当にできるのか。

一市四町の決裂、上勝町との話し合いも断られた。その上、法期限内の合併も見えてこないとなると「ご免なさい」では済まされない。

ITをめぐるつての問題は

目立ったトラブルはない(教育長)

井出美智子 議員



問 佐世保の小学校六年生による殺人事件は、インターネットによるやり取りが引き金になったと言われている。本町では子ども達の間でどの程度、携帯電話やパソコンが普及しているのか。また、それらによるトラブルはこれまでになかったのか。

答 教育長 家庭にある携帯電話を使用している小学生は四十三%。中学生で五十一%、パソコンは、小学生で六十九%、中学生で七十

対応するしかない。新しい職員を採用するのは難しい。

社会的弱者へ 支援体制の 強化を

九%であるが、目立ったトラブルは起きていない。情報化社会に対応しきれいてない世代の相談窓口として、役場にIT担当の専門職を置いてはどうか。

問 町長 行革の中で十五%職員を削減する方向なので現職員で

問 不登校や引きこもり、また、うつや精神障害などの問題をかかえた家族の実情をどの程度把握しているのか。



子ども達に正しい使い方を

答 教育長 不登校は中学生で一人、不登校意味が二人あり担任とスクールアドバイザーの相談員、民生児童委員などの協力を得て対応している。

答 光井福祉課長 引きこもり、うつ、精神障害などの実態は十分把握できていない。

平成十四年度から国の制度が変わり、精神障害者の対応が市町村に移管された。現在、福祉課では五件の対応を行っている。

問 どこへ相談しているのか悩んでいる

家族のために、相談窓口や相談体制の強化、広報活動を強める必要があると思うが。

答 光井福祉課長 福祉制度や相談機関の紹介等、広報活動を強めていく。

合併ありきの 姿勢を改める べきでは



若者が住み続けられる町づくりを

問 助役は毎議会ごとに説明会を開くと答弁してきているが、できていない。どのように考えているのか。

答 助役 今までできていないことは申し訳なく思っている。七月中旬以降に必ず行いたい。

問 町長は上勝町に合併を断られ、びっくりして議長に辞職を申し出た経緯があると聞いたが、その後どうなったのか。

答 町長 私の辞表問題でご迷惑をかけた。また、総務課長にも事実確認をしたが。

答 町長 私の辞表問題でご迷惑をかけた。

た経過はある。今後、そのようなことがないよう任期中一生懸命頑張っていきたい。

答 戸川総務課長 課長の責任を感じていると言ふニュアンスで町長の言葉を受け取った。

問 若者が住み続けられる町づくりを住民みんなで話し合うなどして、合併ありきの姿勢を改めるべきでないか。

答 町長 小松島との合併については、住民の合意を得る中で期限内合併を目指していきたい。

地籍調査

町内業者で対応しては

業者の育成も考慮し対応する（町長）

松田貴志議員



問 地籍調査は町の負担も少なく有益な公共事業である。

答 町内にも測量会社があるが、技術的に施行は可能か。

答 坂井建設課長 測り業務においてかなりの精度が要求される。適正に実施する能力があるかが重要になる。

浄化槽清掃業務 業者間の 問題解決を

問 浄化槽の保守点検業者と清掃業者の間で、契約や料金等の問題により、町内にある施設のくみ取りができていない。行政としてどのように解決するのか。

答 山平住民課長 業者間で協議しても

らい、必要があれば間に入って解決できるように努力する。

問 委託業者間の問題で、住民へのサービスが滞るようでは困る。円滑に環境行政が図られるよう、業者に対して注意や指導をしては。

答 山平住民課長 今までも必要に応じて行政指導をしてきた。今後も、そのような行為があれば十分な指導をしていく。



浄化槽の保守点検作業

成果が見えない 少子化対策

合併問題 明確な意思表示 が必要では

問 勝浦町において、さまざまな少子化対策事業が行われているが、あまり効果が出ていない。何が原因だと考えるか。また、これからの対策は。

答 町長 少子化対策については、国レベルの取り組みが重要であり、地方での対応にも限界がある。今後も、予算の許す範囲で一生懸命取り組む。

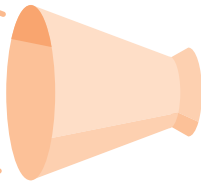
問 法期限内合併を目指す指し事務レベルの協議に入るには、町長の明確な意思表示が必要ではないか。

答 町長 小松島市との合併に向け、職員間では勉強会の準備をしている。今後も、意思の疎通を図りながら取り組んでいく。



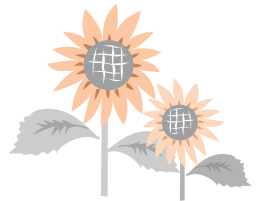
成果が見えない少子化対策

声のひろば

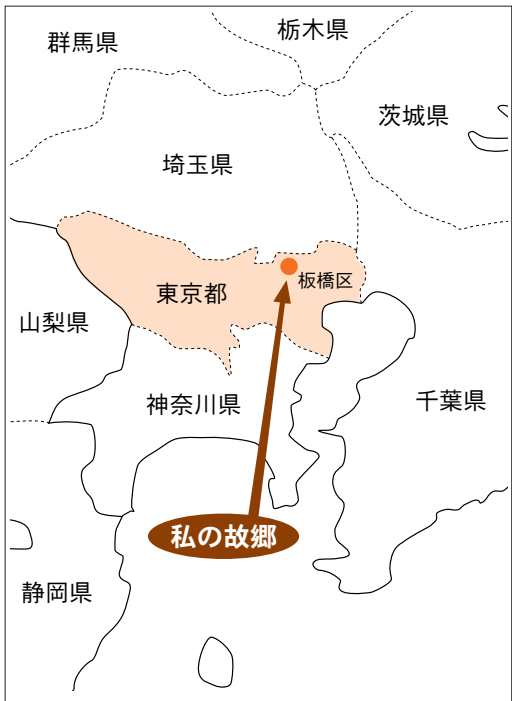


古田 洋子 さん(星谷)
(東京都板橋区出身)

合併は急がなくても



- Q 故郷はどんなところですか
- A 郊外にある住宅地で、都心にも近く、緑を大切に考える住みよい町です。
- Q 勝浦町に住むことになったきっかけは。
- A 主人が東京で仕事をしていた時、私のバイト先で知り合い結婚しました。
- Q 勝浦町の印象は。
- A 山や川に囲まれて静かなところが印象的でした。



- Q 勝浦町に来て一番の驚きは。
- A 初めて来た時、夜の明かりが少ない事に驚き、このことがいまでも鮮明に覚えています。
- Q 家族構成は。
- A 義父母が早く亡くなり、主人と三人の息子の五人暮らしです。
- Q どんなお仕事をしていますか。
- A J A 東とくしまに勤めています。
- Q 好きな言葉は。
- A 「七転八起」前向きな姿勢が好きです。
- Q 市町村合併についてどのよう to 思いますか。
- A 合併することでデメリットも多いと思うので、急ぐことはないと思います。
- Q 小さな町になればよいと思いますか。
- A 自然を活かし、若い人から先輩の人まで利用できる施設ができて、活気あふれる町になるといいと思います。

編集後記



今回の参議院議員選挙は、年金問題が最大の争点でした。躍進した民主党、大幅議席減の共産党、目標が達成できなかった自民党と結果は悲喜こもごもです。国民の高い支持率に支えられてきた小泉首相の人氣に陰りが見えてきましたが、進退問題にまでは発展しそうにありません。小泉流の改革には批判もありますが、政治家としての信念は学ばべきものがあると思います。小さな町の改革でさえ思うように進まないのですから。(義)

